

ノリ養殖情報 (第 20 報)

令和 6年 3月 6日

長崎県 島原振興局 県南水産業普及指導センター

TEL:0957-64-0487

今回の調査は20回目です。

今年度は、10月中旬から3月下旬までに月に3～4回、合計23回の陸上調査を予定しています。

1. 調査結果

調査日: 3月3日(日) 天候: 晴れ 気温: 9.6 (18:10 時点)

(今回(3/3)の水温等の測定時間帯 18:10～20:07) 前回と調査時間帯が異なります。

(前回(2/26)の水温等の測定時間帯 15:23～17:13)

調査点		水温		比重 15	栄養塩:無機態窒素 μg-at/L		クロロ フィルa値	病害 検鏡結果	
		今回	前回 2月26日	今回	今回	前回 2月26日	今回	アカ	ツボ
1. 長崎鼻	支柱	10.3	12.1	20.5	/	6.8	/	/	/
2. 神代	支柱	9.7	12.2	20.1	11.1	13.3	7.4	++	++
3. 大野浜	支柱	10.8	12.5	21.9	12.5	7.5	1.4	++	++
4. 半田	支柱	11.1	12.5	22.1	13.5	22.7	3.2	+	+++
5. 三会	支柱	11.7	12.4	22.4	2.9	18.5	7.0	/	/

長崎鼻の栄養塩、クロロフィルa値の調査は、隔週で実施します。

栄養塩の期待値は7.0 μg-at/L以上です。

アカ、ツボ: なし「なし」、軽度「+」、中度「++」、重症(流出前)「+++」

主な植物プランクトン (単位:細胞/mL)

植物プランクトン (優占種)	小型珪藻			大型珪藻	
	スケルトナ属	キートセロス属	アステリオ ネロプシス属	ユーカンビア属	リソソレニア属
2. 神代	361	129	36	82	4
3. 大野浜	7	1	0	2	0
4. 半田	39	7	0	74	1

調査結果概要

- ・水温は、9.7 ～ 11.7 。 海水比重(15)は、20.1 ～ 22.4。
- ・漁場に設置している温度計の2月26日から3月3日迄の測定結果は、平均温度は9.4 ～ 10.4 で、昨年より0.1 ～ 0.3 低く推移しました。
- ・栄養塩は、2.9 ～ 13.5 $\mu\text{g-at/L}$ で、4観測点中3点でノリ養殖における期待値7.0 $\mu\text{g-at/L}$ を上回りました。
- ・あかぐされ病は神代・大野浜で目視レベル、半田で顕微鏡レベルが確認されました。
- ・壺状菌病は半田で重症、神代・大野浜で目視レベルが確認されました。
- ・植物プランクトンは、珪藻類(スケルトネマ属、ユーカンピア属)が優占していました。

2. 赤潮発生状況

福岡県: 有明海福岡県海域で珪藻のユーカンピア ゴディアクス、リゾソレニア インブリカータ、スケルトネマ属による着色域を確認しました(2月26日)。

佐賀県: 筑後川河口域から太良町地先にかけて、大型珪藻(ユーカンピア)による赤潮が確認されています(2月29日)。

熊本県: 菊池川河口地先から熊本港地先にかけて珪藻類(優占種: スケルトネマ属、ユーカンピア属)による赤潮が発生しています(3月4日)。

3. 他県の情報

福岡県: 4回目の摘採が行われています。一部の漁場で網の撤去が行われています。アカは5調査点で確認され、軽度が3点、中度が2点でした。色落ちは14調査点で確認され、軽度が3点、中度が2点、重度が9点でした(3月4日)。

佐賀県: 摘採や活性処理、網上げ等が行われています。アカは、22点中21点(流出直前7点、肉眼視レベル10点、顕微鏡レベル4点)確認されました。ツボは、22点中10点(流出直前4点、肉眼視レベル2点、顕微鏡レベル4点)確認されました(3月5日)。

熊本県: アカを22地点(23地点中)で確認しました。色戻りした漁場が多くの海域で見られました。網上げ作業がベタ漁場で進み、支柱漁場でも生産不能網から行われています(2月29日)。

4. 本県の情報

浮き流し漁場と支柱漁場で摘採が行われています。

支柱漁場で網の撤去が行われています。

ノリ網の検鏡結果

- ・あかぐされ病及び壺状菌病が3漁場全てで確認されました。
- ・付着珪藻はリクモフォラ、タビュラリアが確認されました。
- ・葉長は23.1 ～ 88.4mmの範囲で、平均は38.1 ～ 69.5mmでした。